

平成25年度 五泉市音楽部 活動報告

部長 齋藤 敦子

1 研究主題

子どもたちが楽しく音楽活動に取り組む手だての研修を深める。

2 研究の概要

五泉市音楽部では、授業公開、楽器実技講習、合唱指導講習の3回の研修を行った。

3 研究の実際

(1) 授業公開の研修について

五泉南小学校の佐藤祐子教諭が6学年で、「曲のリズムを意識させることによって、リズムの特徴や曲の力強さを感じ取って歌うことができる」ということをねらいに、「われは海の子」を教材として授業を行った。授業の最初に本時の課題となる歌を何度も繰り返し歌わせ、子どもたちが歌を覚えたところで、曲を構成しているリズムのパターンを問うた。子どもたちはグループで相談しながら、楽譜を指差してリズムを探したり、手拍子を打ったりして見付けたリズムを確認した。曲を構成する3つのリズムパターンを確認した後、リズム打ちをしながら歌い、リズムをより意識しながら歌えるようにした。その後、譜面に旋律線を書き込んだものを提示し、旋律線の形について話し合うと、子どもたちからは「山の形になっている。」「海の波のようにになっている。」等の声があがった。最後に「海の波のように歌ってみよう。」と投げかけると子どもたちは自然と体を揺らしながら、強弱をつけて歌うことができた。



協議会では、「リズム打ちの音源があるともっとリズムを意識できたのではないか。」「リズムの良さに気付かせるために、原曲の旋律とレガートに変えた旋律を比較させてはどうか。」等、授業をさらに良くするためのアイデアが出た。また、日頃の音楽授業、音楽活動で取り組んでいることを紹介し合った。子どもたちに「音楽は楽しい」と感じてもらうための授業の工夫や学級経営の取組について話し合うなど有意義な研修となった。

(2) 楽器実技講習について

昨年度に引き続き、金子順爾先生を講師に迎え、合奏の実技研修を行った。「自由の大地」という学級でも気軽に合奏できるようにアレンジされた楽譜を用意していただいた。部員が初見で合奏を行いながら、鉄琴や木琴の目的に合ったマレットの選び方や音の出し方、バスマスターの音の設定やスピーカーの配置の仕方、楽器の効果的な演奏の方法などを具体的に指導をしていただいた。実際に楽器を演奏し、曲想を感じ取りながら、合奏することの楽しさを体感し、充実した研修となった。

(3) 合唱指導講習について

橋田小学校4年生を対象として、合唱「COSMOS」を講師の森祐子先生から指導していただいた。第1に大切なことは、歌うときのフォーム（姿勢）である。あごは上げず、お腹と背中中で体を持ち上げるように立つ。よい姿勢を意識するだけで、子どもたちの声がしっかりと前に出るようになった。第2には、表情である。「笑顔で歌う」ということは、顔の筋肉を上げて歌うため音程が下がりにくくなる。最後に「何のために歌うのか」ということである。「聴いてくださるお客様に届けるように歌おう」という気持ちを常にもって歌うことが大切である、と教えていただいた。この1時間で子どもたちは、相手意識をもち、お互いの声を聴き合い、のびのびとした表情で歌うようになっていった。

その他にも、高い声を出すポイント、低い声を地声ではなく歌声にする歌い方、発声練習の仕方、合唱の指揮のポイントなどを具体的に分かりやすくご指導いただいた。

4 成果と課題

3回の研修を通して、お互いの意見交換をしたり講師の先生方から指導を受けたりして、日々の音楽活動に取り組むための工夫について考えることができた。11月に行われた五泉市小学校音楽交歓会では、研修で学んだことが生かされ、各校の子どもたちの素晴らしい演奏を聴くことができた。今後も子どもたちが楽しく音楽活動に取り組み、豊かな感性を伸ばしていくことができるよう研修を深めていきたい。